

平成 29 年度 第 1 回全国健康保険協会愛知支部評議会議事録

日 時：平成 29 年 5 月 22 日（月）10：00～12：00

場 所：全国健康保険協会愛知支部 第一会議室

出席者：天木評議員、金原評議員、後藤澄江評議員（議長）、後藤治彦評議員、後藤雅文評議員、高橋評議員、竹内評議員、永池評議員、林評議員（五十音順）

事務局側出席者：広瀬支部長、深沢企画総務部長、加藤業務第一部長、小野寺業務第二部長
井上グループ長補佐、中村主任、西澤主任、土田主任

1. 前回議事録の確認

- ・前回議事録について問題ないということで承認された。

2. 平成 28 年度事業実施結果の報告 資料①

【被保険者代表】

- ・平成 28 年 1 月から平成 29 年 1 月まで愛知支部の被保険者数は女性のほうが増加率が高いが、短時間労働者が増えた影響か？

（回答）

- ・女性のフルタイム労働者が増加したのか、短時間労働者が増加したのか、その割合は把握していないが、昨年 10 月からの大規模事業所に対する短時間労働者の適用拡大の影響はあると思われる。

- ・自治体との連携で、自治体側の事業 PR 力が低いと感じるが、事業の PR に関して愛知支部と自治体で話し合いはしているのか？

（回答）

- ・自治体によって温度差はあるが、愛知支部から PR も含めて事業をパッケージ化し、自治体側に積極的に提案をしている。その上で自治体と話し合いを行っている。

【学識経験者】

- ・労務管理セミナー内で「がん」からの復職支援について講演しているが、愛知支部ががん患者の復職支援を取り上げた目的は？

（回答）

- ・がんになったとしても企業がフォローできる体制づくりをすることで企業の強化につなげることが目的。生活習慣病予防健診を受診することでがんを予防し、企業の働き手を確保することができるといことも講演では伝えている。

【被保険者代表】

- ・健康保険委員の委嘱後に退職された方や異動された方がいないかフォローはしているのか？

（回答）

- ・本部から随時データを取り寄せてチェックしている。退職者された方がいる場合は次の方を推薦していただく案内等のフォローを実施している。

【被保険者代表】

- ・愛知支部に比べ東京、長野支部が健康保険委員委嘱の伸びが大きいですが、何か特別な取り組みをしているのか？

(回答)

- ・健康保険委員を増やしていくという協会けんぽの目標があり、全支部が取り組んでいる。個々の取り組み状況について把握はしていないが、東京支部は今まで広報だけだったものを、事業所訪問で直接勧奨する方法なども加えて大幅に委嘱が増加したと聞いている。

【被保険者代表】

- ・健康保険委員委嘱者 11,395 人とメールマガジンの登録者 6,085 人の関係性を教えて欲しい。

(回答)

- ・6,085 名のうち約 2,800 名が健康保険委員。まだ半分以下の登録で、全健康保険委員が登録されるよう働きかけているところである。

【被保険者代表】

- ・保健指導の実施状況の協会所属保健師等実施分の達成率が 75.6%となっているがこの結果の位置づけは？

(回答)

- ・対前年比では 100.4%と伸びている。また、外部委託先実施分は 209.4%で大きく伸びている。愛知支部には保健師が 20 名在籍するが、被保険者の割合で決まった人数ではないため、愛知支部としては規模からみて 20 名では足りないという状況である。その代替となる外部委託先の保健師に愛知支部の保健師が研修を行い、スキルアップを図る中で、外部委託分が非常に伸び、協会実施分と外部委託先実施分を合わせた結果は対前年比 133.8%となった。

【被保険者代表】

- ・柔道整復療養費の患者照会の回答率はどのくらいあるのか？

(回答)

- ・60%未満である。回答があった中で例えば負傷していない、負傷部位が異なっているという回答をいただいた場合には、再度、詳細な内容で照会し、何らかの不正が疑われるときには、東海北陸厚生局へ情報提供をしている。

【学識経験者】

- ・柔道整復療養費の 1 件当たりの請求額が顕著に減少しているが、不正や詐欺的な行為も少なくなっているのか？

(回答)

- ・通院日数や負傷部位が多い申請に対して患者照会を行っている。1 件あたりの請求金額だけではなく、請求件数も減少しており、適正化につながっていると考えている。

【被保険者代表】

- ・レセプト点検効果額の全国での順位は？

(回答)

- ・資格・外傷・内容点検によってバラつきがあり、速報値のため確定していないが、真ん中に近いところだと思われる。

【事業主代表】

- ・債権回収状況の「返納金」、「損害賠償金」、「診療報酬返還金」をもう少し簡単にお教えいただきたい。

(回答)

- ・返納金・・・資格喪失後受診が主な原因。遡って資格を取り消すケースもあり、その患者の方が人工透析を受けている場合は1年で500万円程度の返納金が発生することもある。

損害賠償金・・・交通事故、けんかが主な原因。

診療報酬返還金・・・厚生局が行う監査において発覚した医療機関の不正請求や不当請求が該当する。

【学識経験者】

- ・法的手続きによる回収だが、債務名義取得のやり方について検討してみてもどうか。全体の3分の2の回収がうまくいっていないとするならば、コストがかかりすぎていると思う。少額訴訟で決着がつく内容ならば和解に持って行ったほうが回収率が高くなり、有効的かと思う。

(回答)

参考とさせていただきます。

3. 平成27年度協会けんぽ愛知支部の医療費の状況 資料②

【学識経験者】

- ・愛知県は歯科にかかる医療費が高いということで、資料をみると、大阪、東京といった大都市部も多い。これは食生活に関係があるのか。

(回答)

- ・虫歯で歯科へ通院する方より、メンテナンス（虫歯予防等）で通院される方が現在は多くなっており、メンテナンスの需要の多い大都市部での医療費が高くなっているのではないかと。

- ・歯科は全国で6番目に愛知支部は高いが、歯のメンテナンスの良いたことが合併症を起こさず入院期間が短縮されているのかもしれない。これからも医療費の適正化には努力していくが、これまで以上に健康づくりに力を入れる必要があると考えている。

4. その他

- ・次回評議会は平成29年7月上旬に開催予定